

Ironman70.3 Gyure, Korea

喜田文雄、昌子

今年から、新しく始まった IM70.3 のレースの一つです。

10月4日(土)にレースがありました。

移動は、関空から釜山に飛び、釜山からは大会事務局のツアーを利用して、グレまで3時間半のバス旅行です。



会場のグレは、韓国でも過疎の田舎でした。温泉と由緒のある古いお寺が観光の目玉の、のどかな盆地です。町おこしのイベントなんですね。地元自治体の力強い後押しがあり、日本の珠洲や、徳之島のような大会でした。

ゴール後の表彰パーティーでのビール飲み放題は、我が家好みでした。もちろん、いつでもどこでもキムチ食べ放題です。



済州島で Ironman がなくなり、焼肉を食べる機会を無くしていたところ、グレ開催のニュースをルミナで知った時、焼肉を食べに行こうと即決でした。

レースの朝、気温が冷え込み、湖水温との差でしょうか？霧が立ちこめ、ブイが見えないというアクシデントに見舞われ、スタートが1時間以上遅れ、スイムを約500mに短縮されましたが、なんとか無事に開催されました。

私は、年代3位入賞で表彰台には上がりましたが、スロットゲットとはなりませんでした。昌子は、年代優勝で、来年、オーストリアで開催される World Championship に、今年に続き2年連続の出場の快挙を達成しました。勤務先の愛媛の練習仲間から「世界の大河内」と言われるようになりました。



私は、昌子のカバン持ちか…と、諦めておったところ、Championship 開催の前日に、IM70.3の予選が開催されると発表になり、エントリーしました。

これで、お互い喧嘩することなく、別々ですが、同じコースのレースを楽しむ事ができ、よかった、よかった…。

リザルト

昌子 S; 16:42 B; 3:02:29 R; 1:57:46 Total; 5:21:38

文雄 S; 16:10 B; 2:40:37 R; 2:23:21 Total; 5:25:43

来年は、ベトナム屈指のリゾート地、ダナンでも IM70.3 が開催されるようです。IM70.3 は、アジアでも6レース（日本、韓国、マレーシア、台湾、フィリピン、ベトナム）。ますます熱くなって来ております。

大会後、ルミナからインタビューされ、我が家のコメントと写真が、12月号のルミナに載りました。

ッてが道必前がすかすし2モ。シての
 えておいたほうが良いと思います」広
 島県・後藤周作さん
 京都府から夫妻で参加したのは、喜
 田文雄さん・昌子さん。韓国に行きた
 いと思っていたところ、求礼で大会が
 開かれるのを知って参加を決めた。
 「濃霧で全くブイが見えず、トライア
 スロンは自然相手のスポーツだとあら
 ためて認識しました。大会前後は格安
 で美味しい韓国料理が堪能できました
 し、アワードパーティーもビールが飲
 み放題でした。言葉もポディーランゲ
 ージの英語で頑張りました」(昌子さん)
 今大会の総括事務局長のチェ・ホ
 ニールさんは「求礼の活性化のため
 に、自治体の全面的なバックアップを
 受けて大会を運営しています。韓国の
 トライアスロン市場は規模がまだ大き

